

## オルフェウス

由利原直子

レエテの甘き水飲めば

人みな生を忘るらむ。

積もり積もれる魂の緒は、光彩陸離と輝けり。

さて人、こぞりて手を伸ばす。

憧れの生、つぎの生。

光、遍き……

たちまちにして、數多の魂かき消えぬ。

それぞれに、人の新しき胸に誘はれければ。

ああオルフェウス、おるふえうす。

君は輪廻をことほぎぬ。

光求めて冥界へとこそ降りたまひぬれ。

君の樂の音、つひに天地をも動かす。

君に酔ひたる者すべて、黄金の地圖をば抱きけり。

永遠にくちせぬ黄金は、

前の世の想ひしるべして、

新しき世をととのへ知る。

白鳥の羽のさやぎにも似て、貴き響きを傳へけり。

世、争ひてうたふ、生ひとたび去りては還らずと。

されど、さは、眞實にてありや？

黄金の光に抗ふを得んや？

ああオルフェウス、君こそ記憶、畏るべきオルガノン。

君知るや、ディオニュソスの無慘なる死を。

大いなる篡奪者、神の生繰り返すディオニュソスこそ、君の面影慕ひけれ。

怪盜紳士アルセエヌ・リュパン、君の御前に額づきぬ。

さて黄泉より歸りし吸血鬼、君に焦がれて身を灼くや？

運命の決定、君ならで誰か知るべき。

君の意志を目前に、齒向かふ者はよもあらし。

水妖の、魂捨てし美姫とても、君をむなしく見送りぬ。

君いづくより來たれる、しかうしていづくこへ向かふや？

君の足跡、うつしよに記さるれども、君の姿を覺ゆる者は絶えてあらし。

されど深祕の鳴動は、樂の音映してうつしよ悉皆に満ち満ちぬ。